Waffle Cell　取扱説明書

メール関係の機能まとめ

対応機種：高機能サービスゲートウェイ RS-100L

目次

1:メール関連機能の説明.....2
2:Postfix.....3
　○解説：「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合.....5
3:VPN-Web メール.....7
　○メールアドレスと使い方.....7
　○割り当てられるメールアドレスと、受信の確認.....8
　○識別情報の設定.....8
4:VPN-Web メール設定.....10
5:モバイル Mail.....11

1: メール関連機能の説明

Waffle Cell のサービス追加で追加可能なメール関連機能には以下の４つがあります。

「Postfix」はメールサーバーです。Waffle Cell でメール関連機能を使うためには、まずこの Postfix をサービス追加で追加しておく必要があります。

「VPN-Web メール」はメールソフトです。Windows なら Outlook や Windows Live メールにあたるものになります。

「VPN WEB メール設定」は VPN-Web メールの設定を切り替えます。通常は VPN-Web メールは同じ LAN 内または VPN 接続時にしか利用できませんが、それを切り替える事を可能にする機能を提供します。
つまり、
「同じ LAN 内又は VPN 接続時にしか利用出来ない」状態
「外部から VPN 接続なしでも利用できる」状態
を切り替える事が出来るようになります。

「モバイル Mail」は VPN-Web メールにモバイルで使いやすい「Mobile view」モードを追加します。

2: Postfix

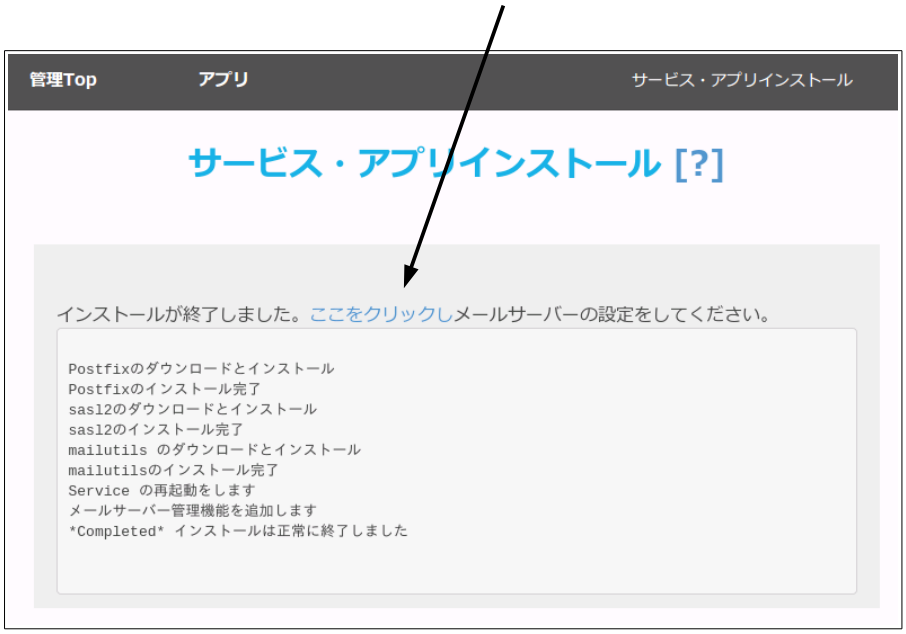
Postfix はメールサーバーになります。Postfix をサービス追加することにより、例えば Mattermost や Nextcloud などのシステムからメールが送れるようになります。

合わせて VPN-Web メールをサービス追加すれば、メールの送受信も可能になります。

管理 Top 画面にログインし、「サービス追加追加削除（一般）」をクリック、サービスの一覧から「Postfix メールサーバー」をクリックします。

インストール画面になりますので、インストールを開始します。

インストールが完了したら、「ここをクリック」をクリックします。



メールサーバーの設定画面が開きますので、必要な情報を入力します。

ここに入力する情報は、基本的にプロバイダーから入手可能です。プロバイダーに項目を聞けば、必要な情報が返ってくるはずです。

入力したら、「上記内容を保存し、テストメールを送信する」をクリックします。クリックすると、

テストメールを abc@example.com に２通送信しました。メールが届いたか確認をしてください。
１通目の表題は 「WaffleCell TEST(1)」、２通目は「WaffleCell TEST(2)」です。
二通とも届かない場合は以下の設定に間違いがある可能性があります。設定をもう一度確認してください。
(1) が届かない場合はプロバイダがメールの送信を制限している可能性があります。この場合は Waffle Cell からメールを送るためには、送信元（From）を **abc@example.com** を指定する必要があります。」

と表示されます。**（※abc@example.com の部分には実際にお客様がテストメール送信先に入力したア**

ドレスが表示されます）
テストメールが届いたかどうかを確認して下さい。

・２通とも届いた場合
おめでとうございます。何も問題ありません。

・２通とも届かない場合
メールが２通とも届かない場合は設定をやり直す必要があります。
設定のやり直しは、管理 Top 画面の「メールサーバー設定」から行います（「メールサーバー設定」は Postfix をインストールすると表示されるようになります）。

・１通しか届かない場合
「WaffleCell TEST(2)」が届いて「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合は、メールの送信元を先ほど入れたアドレスに設定する必要があります。この設定はメールソフト（VPN-Web メール）はもちろん、例えば Mattermost や Nextcloud でメールを利用するのなら、それらのサービスでも同様に送り元を設定する必要があります。メールを送るようなサービスでメールが送れない場合は、その点を確認して下さい。

○解説：「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合

結論から言うと、「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合は「プロバイダーから提供されたメールアドレス以外のアドレス」を From に設定できません。認証等でメール送信を行うサービス（Nextcloud や Mattermost 等）では From 欄にそれを設定すればいいのですが、メールソフト（VPN-Web メール）では、From にプロバイダーから提供されたメールを設定すると、相手が返信する際に困る事になります。このことは後述の VPN-Web メールの項目で説明します。

なぜそうなるかという解説は以下のとおりです。
Postfix はメールサーバーです。一般的にはメールサーバーがあれば、送信も受信も行うことが出来ます。ただし、大多数のプロバイダーが個人でメールサーバーを立てて、メール送信することを制限しています（主に迷惑メール送信用に使われないようにするためのようです）。

上記の制限がある場合は、Waffle Cell から直接送信することができません。そこで送信は「個人」ではなく「プロバイダーの SMTP サーバー」を経由することになります。

ここでもうひとつのハードルがあります。一部のプロバイダー（例：OCN）では差出人メールアドレスをプロバイダが発行したものに限っていることがあります。その点を確認するためにメールサーバーの設定を行う際、「テストメールの送信元」を入れる欄があり、ここにはプロバイダー発行のアドレスを入れるようになっています。

Postfix 設定完了後、テストメールを送る際に、メールの送信元（From）に「WaffleCell@ホスト名.wafflecell.com（例：WaffleCell@example.wafflecell.com)」を使ったものと、入力された「テストメールの送信元」を使ったものの２通を出しています。
それぞれのメールのタイトルは「WaffleCell TEST(1)」「WaffleCell TEST(2)」となっています。両方が届いた場合は、問題ないのですが、「WaffleCell TEST(2)」が届き、「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合はメールの From にプロバイダーの発行したメールアドレス(例　example@so-net.ne.jp)を設定する必要があります。

3：VPN-Web メール

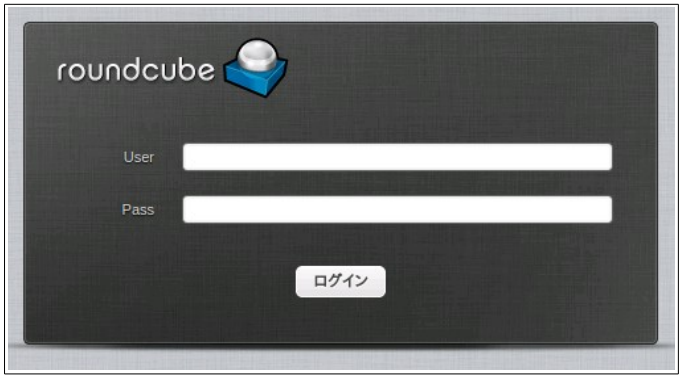
VPN-Web メールはメールソフトです。Postfix をインストール後にサービス追加を行なって下さい。

追加方法は、管理 Top 画面にログインし、「サービス追加追加削除（一般）」をクリック、サービスの一覧から「VPN-Web メール」をクリックします。設定する項目はありませんので、そのままインストールして下さい。

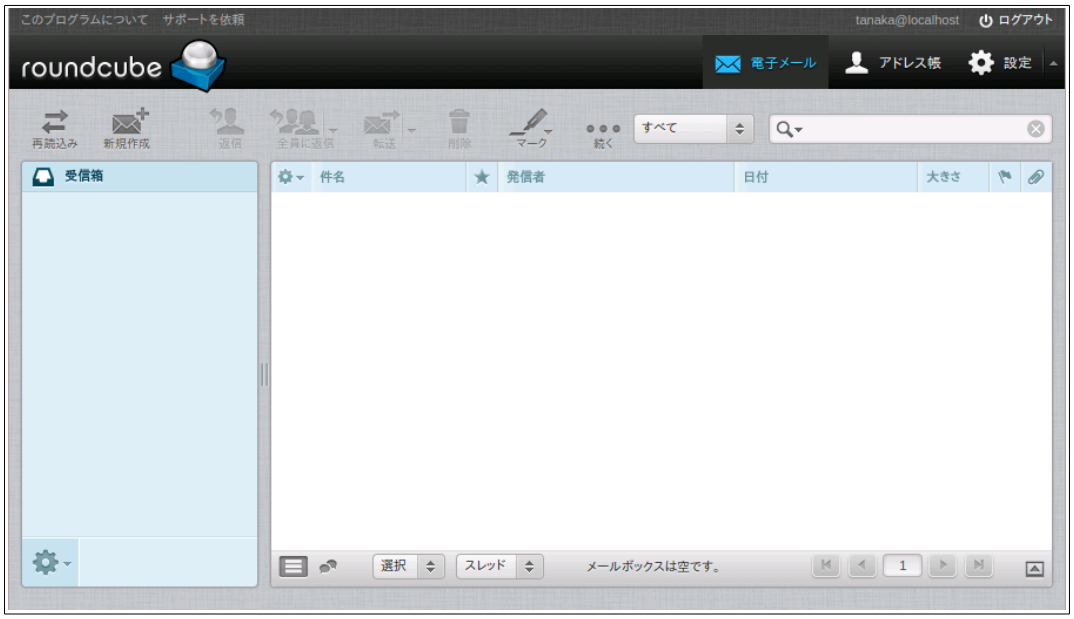
○メールアドレスと使い方

Postfix と VPN-Web メールの両方がインストールされていると、 Waffle Cell でメールの送受信ができるようになります。

アプリ画面（https://<ホスト名>.wafflecell.com）から、VPN-Web メールを選択すると、次のようなログイン画面になります。ログインは自分の Waffle Cell ユーザー名とそれに対応したパスワードを、User、Pass に入れてログインをクリックすることで行えます。



ログインすると、次のような画面になります。



VPN-Web メールは roundcube というメールシステムを利用しています。詳しい使い方は、「roundcube 使い方」などで検索してみて下さい。メールの送受信が主な機能ですので、メールソフトを使ったことがあれば、それほど難しい事はないと思います。ただし使い始める前に次項の「識別情報の設定」を読んで、必要な設定を行なって下さい。

○割り当てられるメールアドレスと、受信の確認

VPN-Web メールで割り当てられているメールアドレスはユーザー名が「tanaka」なら「tanaka@<ホスト名>.wafflecell.com （例：tanaka@example.wafflecell.com）」になります。まずはこのアドレス宛に、普段使っているメールソフトからメールを送って、きちんと受信出来るかを確認して下さい。

○識別情報の設定

メールを送信する前に、識別情報の設定を行なって下さい。

ここで行うのは、メールの送信元や返信先の設定です。

送信元の初期値は例えばユーザー名が「tanaka」なら、「tanaka@localhost」になっています。ここを変えずにメールを送るとメールをもらった相手がメールソフトの返信機能を利用して返信する際の返信先のアドレスが「tanaka@localhost」のままになってしまいますので、ここに返信先のメールアドレスを設定する必要があります。

まず、画面右上の「設定」をクリックします。クリックすると次の画面になります。

ここで左のメニューで「識別情報」を選びます①。真ん中のメニューが変わりますので、変更する情報をクリック（図例では「tanaka@localhost」）します②。これで右側に「識別情報を編集」の項目が表示されます③。

設定が必要な項目は「電子メール」と「返信先」です。下記の記述を参照して適切なものを入力して下さい。なお、他の項目は任意で必要と思う項目があれば入力して下さい。

・電子メール

前項の Postfix の設定で「WaffleCell TEST(1)」が届いた場合と届かなかった場合で、ここに入れるものが違ってきます。

「WaffleCell TEST(1)」が届いた場合は　VPN-Web メールで割り当てられたメールアドレスを入れます。（例：tanaka@example.wafflecell.com）
届かなかった場合はプロバイダーで割り当てられたメールアドレスを入れます。これは Postfix の設定時に「テストメール送信先（プロバイダ発行のもの）」に入れたものを入力して下さい。

・返信先

「WaffleCell TEST(1)」が届いた場合は何も入れなくても結構です（何も入れない場合は上記の電子メールの項目に入れたものが返信先になります）。
届かなかった場合は、VPN-Web メールで割り当てられたメールアドレスを入れます。
（例：tanaka@example.wafflecell.com）

解説：「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合の設定について

「WaffleCell TEST(1)」が届かない場合は、①電子メールにはプロバイダーで割り当てられたメー

ルアドレスを入れ、②返信先には VPN-Web メールで割り当てられたメールアドレスを入れます。
①はプロバイダーの送信制限を回避するためです。
②はメールを受け取った側が返信機能で返信した場合、返信先がプロバイダーのメールではなく 、VPN-Web メールで割り当てられたメールアドレスにするためです。

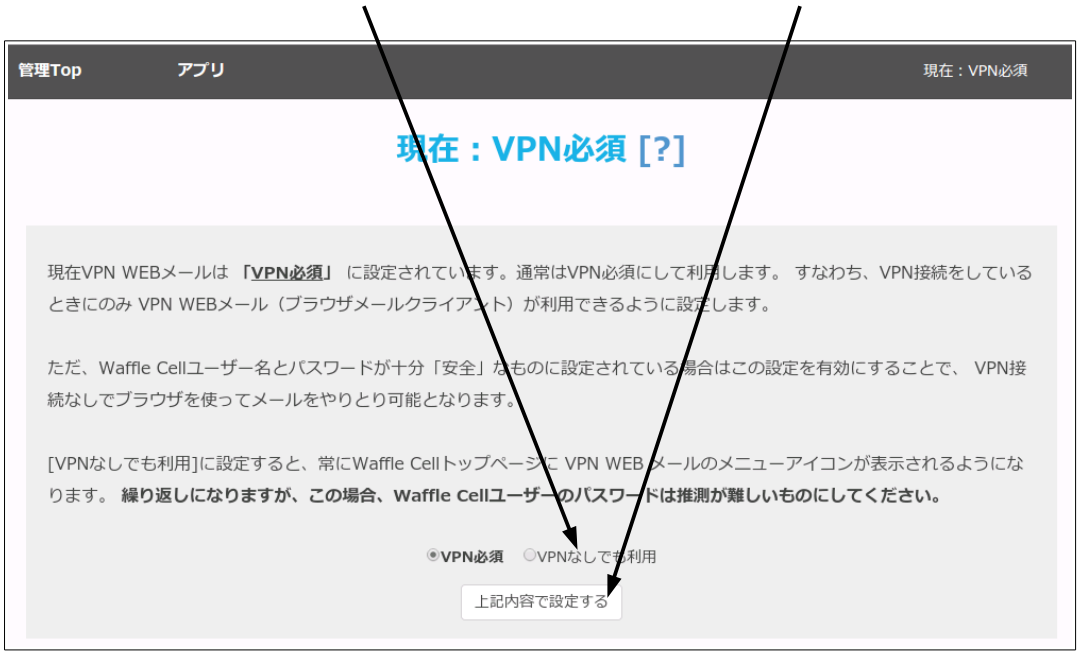
4: VPN-Web メール設定

VPN-Web メールはその名の通り、同じ LAN 内にある、もしくは VPN 接続されている PC 等からしかアクセス出来ません。セキュリティーの面からは安全性が増すのですが、そこまでセキュリティーを求めない、外の回線からも利用したいという場合は、この VPN-Web メール設定を追加します。

追加方法は、管理 Top 画面にログインし、「サービス追加追加削除（一般）」をクリック、サービスの一覧から「VPN-Web メール設定」をクリックします。設定する項目はありませんので、そのままインストールして下さい。

VPN-Web メールがサービス追加されると、、管理 Top 画面に「VPN Web メール公開設定」という項目が表示されます。この項目を選択すると、次のような画面になります。初期値は「VPN 必須」で、この状態は同じ LAN 内、または VPN 接続された PC 等からのみアクセス可能です。

設定の変更は、「VPN なしでも利用」を選択し、「上記内容で設定する」をクリックします。



設定が正常に完了すると、画面上部の表示が、「現在：VPN 必須」から「現在：VPN なしでも利用」に変わります。

5: モバイル Mail

VPN-Web メールの画面は PC 用で、スマホ等のモバイルでは使いにくい場合があります。「モバイル Mail」をインストールすると、「Desktop view」と「Mobile view」を切り替えられるようになります。

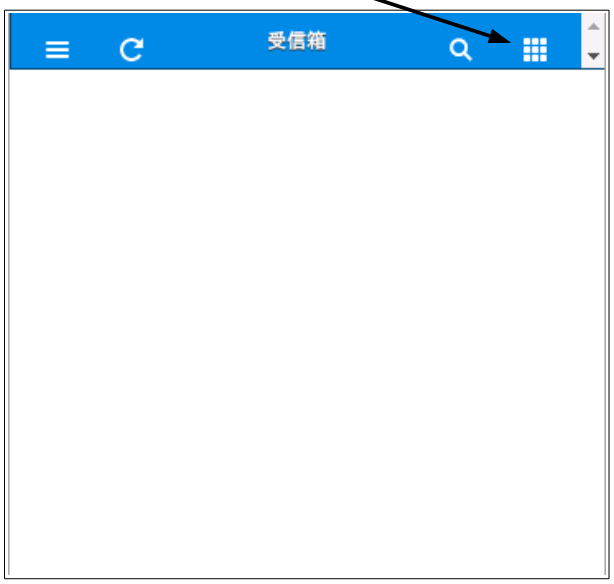
追加方法は、管理 Top 画面にログインし、「サービス追加追加削除（一般）」をクリック、サービスの一覧から「モバイル Mail」をクリックします。設定する項目はありませんので、そのままインストールして下さい。

「Desktop view」から「Mobile view」の切替は、画面左上の「Mobile view」をクリックします。

ここをクリック

「Mobile view」から「Desktop view」の切替は、画面右上のメニューをボタンをクリックし、表示されるメニューから「Desktope view」をクリックします。

ここをクリック



メニューでここをクリック